

# 安全運転

2024

6

No. 618

発行所・発行人 岡山県安全運転管理者協議会連合会  
岡山県運行管理者協議会連合会

〒700-8512 岡山市北区内山下2-4-6  
TEL.(086)234-0110

定価1部75円(但し、会員の購読料は、会費に含めて徴収)

## 梅雨期の交通事故防止

梅雨期は、天候不順に伴う交通渋滞や、視界不良、スリップによる交通事故の危険が高まります。次のことに特に注意して、安全運転を心がけましょう。

- 1 できるだけ公共交通機関を利用しましょう。
- 2 運転はゆとりを持って!
- 3 視界はクリアに!
- 4 ライトは早めに点灯しましょう
- 5 心と車の状態をチェック!
- 6 自転車の運転も十分注意して!
- 7 反射材などで自分をアピール!

### なぜ着用しない? シートベルト!

令和5年中の四輪乗車中の事故死者は、20人。  
そのうち、**7人(35.0%)**の方が、  
シートベルトを着用していませんでした。  
令和5年中全交通事故死者数 49人(前年対比-25人)

### メール配信サービス登録のお願い。

機関紙「安全運転」、最新の交通安全情報、講習会の情報などをメールで配信するサービスを令和6年10月1日から開始の予定です。右記のQRコード、下記の(URL)から必要情報のご登録をお願いします。



ID: anzenunten  
パスワード: driver

登録用 URL <https://okym-ankan-unkan.gr.jp/regist/>

令和6年度

「安管・運管」交通安全スローガン

**「気を抜くな ハンドル持つ手は 帰るまで」**

# 令和6年度通常総会

岡山県安全運転管理者協議会連合会

岡山県安全運転管理者協議会連合会の令和6年度通常総会は、令和6年5月17日、ホテルグランヴィア岡山において開催致しましたところ、令和5年度歳入・歳出決算報告が承認され、令和6年度事業計画・予算が決定致しました。

☆令和6年度役員(敬称略)

**会長** 増永 雅嗣

**副会長** 森 陽一郎 **副会長** 秋田 英次

**理事** 松本 俊成 **理事** 杉原 正信 **理事** 秋山 浩一 **理事** 難波 義昌 **理事** 片山 隆久

**監事** 藤井 美行 **監事** 尾崎 隆王

**事務局長** 能勢 一利



## 岡山県安全運転管理者協議会連合会 令和5年度歳入・歳出決算報告

歳入	23,566,130円
歳出	15,353,539円
差引残高	8,212,591円
(次年度準備金)	(差引残高は令和6年度へ繰越)

## 令和5年度歳入・歳出決算書

(歳入の部)

(単位：円)

款	項	令和5年度決算額	摘要
繰越金	繰越金	1,639,093	
会費	会費	21,927,000	安管 4,472事業所 ×4,500円=20,124,000円 副安管 1,198人 ×1,500円= 1,797,000円 令和4年度分 2事業所 ×3,000円= 6,000円
雑収入	預金利子等	37	
合計	計	23,566,130	

(歳出の部)

(単位：円)

款	項	令和5年度決算額	摘要
会議費	会議費	70,427	総会等会場使用料
事務費	人件費	5,372,486	給与等、社会保険料等、厚生費等
	旅費	235,110	会議出張旅費等
	需用費	376,159	事務所使用料等
	役員費	177,264	切手、はがき通信費
事業費	備品費	432,840	パソコン、プリンター等購入費
	事業費	8,688,923	機関紙「安全運転」印刷・郵送料 中央研修所研修補助金 チャレンジ200日協賛金 優良安全運転管理者表彰諸経費等
雑費	雑費	330	残高証明書手数料等
予備費	予備費	0	
合計	計	15,353,539	

### <令和6年度 岡山県安全運転管理者協議会連合会の主な事業計画>

- ・春、秋の交通安全県民運動の推進(令和6年4月6日~15日、令和6年9月21日~30日)
- ・無事故・無違反チャレンジ200日への積極的参加(令和6年6月15日~12月31日)
- ・目指せ日本一!交通マナーアップ県民運動(令和6年4月1日~令和7年3月31日)
- ・高齢者交通安全県民運動の積極的推進(令和6年4月1日~令和7年3月31日)
- ・ストップ飲酒運転県民運動(令和6年4月1日~令和7年3月31日)
- ・「安全運転管理者・運行管理者セーフティスクール」の実施(令和6年6月27日、28日)
- ・機関紙「安全運転」の発行(年間11回)
- ・安全運転管理者選任事業所・運行管理者選任事業所から交通安全スローガンの募集(募集期間:令和6年7月1日から11月30日まで)
- ・安全運転管理者トップセミナー(令和6年12月18日)
- ・中央研修所派遣講習の募集(4日間課程—11月4日から5名)(5日間課程—11月7日から1名)
- ・電子配信サービス(令和6年10月1日から実施)

# 令和6年度通常総会

## 岡山県運行管理者協議会連合会

岡山県運行管理者協議会連合会の令和6年度通常総会は、令和6年5月10日、ホテルグランヴィア岡山において開催致しましたところ、令和5年度歳入・歳出決算報告が承認され、令和6年度事業計画・予算が決定致しました。

☆令和6年度役員（敬称略）

会長 伊賀 資耕  
副会長 安原 秀二 副会長 赤田 博文  
理事 伊賀 忠康 理事 千田 修 理事 平田 成実 理事 河上 真一 理事 坂元 功志  
監事 藤原 清 監事 永山久仁彦  
事務局長 能勢 一利



### 岡山県運行管理者協議会連合会 令和5年度歳入・歳出決算報告

歳入 5,606,724円  
歳出 3,266,093円  
差引残高 2,340,631円  
(次年度準備金) (差引残高は令和6年度へ繰越)

### 令和5年度歳入・歳出決算書

(歳入の部)

(単位：円)

款	項	令和5年度決算額	摘要
繰越金	繰越金	2,061,706	
会費	会費	3,545,000	運営 709事業所×5,000円=3,545,000円
雑収入	預金利子	18	
合計		5,606,724	

(歳出の部)

(単位：円)

款	項	令和5年度決算額	摘要
会議費	会議費	48,192	総会書面開催費用等
事務費	人件費	1,313,672	給与等、社会保険料等、厚生費等
	旅費	39,597	会議出張旅費等
	需用費	157,024	事務所使用料等
	役員費	61,267	切手、はがき等通信費
備品費	備品費	108,210	パソコン・プリンター等購入費
	事業費	1,537,801	機関紙「安全運転」の印刷、郵送料 優良運行管理者表彰諸経費等
雑費	雑費	330	残高証明書手数料
予備費	予備費	0	
合計		3,266,093	

### <令和6年度 岡山県運行管理者協議会連合会の主な事業計画>

- ・春、秋の交通安全県民運動の推進（令和6年4月6日～15日、令和6年9月21日～30日）
- ・無事故・無違反チャレンジ200日への積極的参加（令和6年6月15日～12月31日）
- ・目指せ日本一！交通マナーアップ県民運動（令和6年4月1日～令和7年3月31日）
- ・高齢者交通安全県民運動の積極的推進（令和6年4月1日～令和7年3月31日）
- ・ストップ飲酒運転県民運動（令和6年4月1日～令和7年3月31日）
- ・「安全運転管理者・運行管理者セーフティスクール」の実施（令和6年6月27日、28日）
- ・機関紙「安全運転」の発行（年間11回）
- ・安全運転管理者選任事業所・運行管理者選任事業所から交通安全スローガンの募集（募集期間：令和6年7月1日から11月30日まで）
- ・電子配信サービス（令和6年10月1日から実施）

# 贖いの日々 償いへの道

K・S 会社員(20代)

私は車を走る凶器に変え、私とは無関係な罪のない人を事件に巻き込み殺してしまいました。

私はある年の11月、仲の良い友人と夕食に出かけました。

はじめは夕食を終えたら帰るつもりでしたが、急遽、翌日の仕事が休みになったことから、よく集まる友人たちに連絡して遊びに行くことになりました。

普段から集合場所に行っている行きつけの店に集まり、明日は休みという安心感から、時間を気にすることなく遊んでいました。

そして、深夜になり、日付も変わったことから、帰り道が同じ友人を乗せ、一緒に帰ることにしました。

これまで何度か友人宅まで送り迎えをしていたので、走り慣れた道だという安心感と深夜という油断もあって注意散漫な運転になっていました。

途中で雨が降りだし、友人宅まで後わずかな所まで来たところで、友人が「コンビニに寄れたりする？」と聞いてきました。ちょうど私もコンビニに行きたいと思っていたので友人宅を通り過ぎ、すぐ先の交差点

を右折することになりました。

右折する際に、対向車線から来るバイクのヘッドライトが近くに見えるのですが、「自分の方が先に曲がるだろう」と安易に考え、右折を強行しました。

右折を始めて、「まずい、間に合わない」と思った直後に「ドーン」という激しい衝突音と衝撃があり、フロントガラスの向こうへ被害者の方が飛んでいくのを見えました。

私は車から降り、被害者のもとへ駆け寄ると、原形を留めないほど壊れたバイクの先に被害者の方が、全く動かない状態で倒れていました。その惨状を見た瞬間、私の頭の中は真っ白になりました。

直ぐに救急車を呼びましたが、警察が来るまでの間なすすべもなく、ただ呆然としていました。

私は警察に連行され取り調べを受けましたが、その際、私が右折した交差点は、「右折禁止」であること知らされました。

その後の取り調べで「被害者の方が亡くなった」と聞かされ愕然としました。そして「これから自分はどうなる

のだろう」という漠然とした不安から、何も考えられなくなりました。

事件後、私は御遺族の方と会うのが怖くなり、謝罪等を全て家族に丸投げして責任を負わず、現実から逃避してしまいました。

同乗していた友人は無傷でしたが、家の前で起きた事件のため、ショックを受け引越しました。

被害者とその御遺族はもとより、自分の家族や親友など周りの人達を巻き込んだ大事件にも関わらず、私の行動は余りにも幼稚で、自身の無い謝罪文を一通送っただけでした。

そのため、御遺族の気持ちを踏みにじり、感情を逆撫でしてしまいました。

裁判では、過失運転致死罪で禁固1年4ヶ月の言い渡しを受けました。公判でも御遺族は、最大限の刑罰を望んでいたのですが、この刑期は短過ぎて到底納得できるものではないと思います。

私は現在、市原刑務所で受刑生活を送っています。

受刑生活では自分の犯した罪と向き合い「事件の責任は全て自分にある」と思うようになりました。

これまでの私の運転は安全意識に欠けていました。それは物事を常に自分に都合良く考える、自己中心的な甘さによるものです。

今回の事件は、運悪く起こったものではなく、起こるべくして起こった事件だと思っています。刑期が終わっても、私の罪が消え

る訳ではありません。償いに終わりはなく、生きていく限り一生背負って行くものだと考えています。

未だに示談も済んでおらず、御遺族に対する正式な謝罪もできていませんが、今後は、どんな小さなルールでも守り、自分の甘さを克服したいと考えています。

そして被害者の未来を奪い、御遺族の人生を変えてしまった反省に立って、御遺族の期待に沿える償いを行いたいと思っています。

最後に皆さんにお願いしたいことは「車は便利な乗り物ですが、使い方と人を殺してしまう凶器に変わる」ということです。

そして、私のような悲惨な事件を起こす人がなくなることを切に願っています。



つぐないの碑  
あやまちを反省し  
社会人として立直ることを誓います  
(市原刑務所内に設置)

(注) 一般財団法人

東京都交通安全協会発行

「贖いの日々」

— 交通事故の悲劇を繰り返さないために — から転載

# 安全アロイ

## 梅雨期の交通事故防止



## 危険予知訓練を実施しよう

交通場面のイラストに基づいて、いくつかの危険を指摘してみましょう。

片側1車線の道路で対向車が迫ってきました。前方には大きな水たまり。



### ★状況

- ・天候が急激に悪化(大雨・強風)し、前方が見づらくなりました。
- ・前方から、かなりの速度で迫ってくる車両があります。

Q1 どのような危険がありますか?

Q2 どのようなことに注意して運転をしますか?

※解答は8ページに掲載します。

## 安全運転・運行管理者選任事業所の交通事故 令和6年4月末日現在

区 分	人身事故件数	死 者	傷 者				
			重 傷	軽 傷	計		
安管事故	令和6年	115( 7.3)	0( 0.0)	9( 4.9)	115( 7.3)	124( 7.0)	
	令和5年	98( 6.5)	1( 7.7)	14( 6.9)	97( 6.5)	111( 6.6)	
	増減	数	17	-1	-5	18	13
		率	17.3		-35.7	18.6	11.7
運管事故	令和6年	43( 2.7)	1( 6.7)	5( 2.7)	40( 2.5)	45( 2.6)	
	令和5年	42( 2.8)	1( 7.7)	6( 3.0)	38( 2.6)	44( 2.6)	
	増減	数	1	0	-1	2	1
		率	2.4		-16.7	5.3	2.3
県下の全事故	令和6年	1,573	15	184	1,579	1,763	
	令和5年	1,498	13	203	1,485	1,688	
	増減	数	75	2	-19	94	75
		率	5.0	15.4	-9.4	6.3	4.4

(注) 安管・運管事故は、安全運転管理者・運行管理者選任事業所の従業員が起こした事故です。  
( ) 内の数字は県下の全事故に対する構成率を示します。

# 新事故の心理・安全の心理

## 高齢運転者の事故防止に対する「心理学的側面」

### 交通安全国民運動中央大会基調講演

NPO法人安全と安心心のまなびば 代表

川崎医療福祉大学 名誉教授

主幹総合交通心理士 健康心理士

金光義弘

はじめに

本年1月16日、17日の両日、第64回交通安全国民運動中央大会が東京都内で実施されました。本大会は昭和36年から、全日本交通安全協会と警察庁が主催して、安全で快適な交通社会の実現を目指す国民運動の推進を誓い開催されています。

今回は1月17日の本会議において、警察庁長官と全日本交通安全協会長の連名で、交通安全賞緑十字金賞の表彰式がありました。小生も受賞者の一人に加えて頂いたことは、誠に名誉なことと、本誌関係者のお力添えの賜物であると感謝しております。

今後とも命ある限り、安全で安心な住みよい交通社会と地域の発展のために尽くしてまいります。

栄えある大会を記念して恒例の分科集会が実施され、基調講演としてその時代に相応しいテーマに即した研究成果が発表されました。十数年前には筆

者も登壇させて頂いたこともありましたが、本年は塩崎尚美氏による「幼児・子どもの交通事故防止」と、小菅律氏による「高齢運転者の事故防止のため」の二題でした。

残念ながら今回は所用で参加できなかったのですが、「人と車」(2024年2月号)に掲載された基調講演要旨を拝読し、小菅氏が講演された科学警察研究所による高齢運転者の事故予防に関する調査研究について、本コラムで紹介し若干のコメントをさせて頂くことにします。

#### 高齢運転者数と交通事故の増加

近年我が国の高齢運転者数は増加の一途をたどり、70歳以上の運転免許保有者数はこの10年の間に約50万人増え、全運転免許保有者に占める割合は、10年前の1.65倍になっています。(図1 年齢層別運転免許保有者数の推移(交通白書))

同時に高齢運転者が関わった交通事故件数も増加傾向を示し、高齢運転者数の増加傾向との間には明らかに相関関係が認められます。

こうした事故統計によると、誰もが我が国の交通事故を減らすには、まず高齢運転者の事故を減らさなければならぬと考える人が多いはずだ。

そこで演者が説明された事故件数を減らす方法の一つは、運転技能検査を厳しくして不合格の高齢者には運転免許を与えず、交通社会から締め出すという「危険高齢者排除」の考えです。

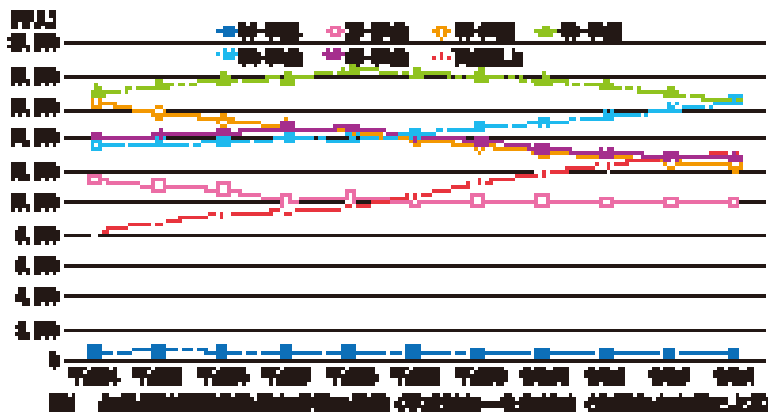
しかしそれとは対照的に、高齢者の心理・技能を充実して「高齢者の安全運転寿命延伸」という考えがあることを強調されました。

前者の考え方は「君子危うきに近寄らず型」で、子どもたちを危険の多い公園から遠ざけるか、危険な遊具を遊び場から取り除く方法です。当然子どもは自発性、好奇心、意欲の発達に支障を来す問題が生じます。

高齢者の場合は、日常生活のQOLが低下し、認知・判断・操作の機能低下が進みますから、益々ファレル老人が増加して、健康寿命延伸には寄与しないこととなります。

では後者の考え方はどうかと言えば、高齢者の安全運転寿命を延ばすとともに、健康寿命の延伸に繋がりが、超高齢化社会の課題の克服に役立つので歓迎されます。

そのためには、高齢者の訓練や支援の人的・経済的資源の確保が不可欠ですが、我が国の現状では俄かに期待できないのが問題です。



科学警察研究所の取り組み

とはいえ最近の科学警察研究所の研究方法は、先述の「高齢運転者の安全運転寿命延伸」を目指すユニークで、官民一体で取り組みれば高齢者の態度変容と健康寿命の促進に寄与する可能性があると思います。そうした視点に立つ小菅氏の基調講演の内容はわかりやすく、取り組みめると思えるのでご紹介します。

研究の主眼は、高齢者が運転方法を本人と家族・知人等の協力によって、自らの運転状況とライフスタイルに合わせて、合理的に変容させようとするものです。

例1. 「本人の自覚を高める」教育と介入法

課題は「本人が自分自身の運転を適切に自覚できるか」

【第1日目の前半】運転評価

- ・運転者 70歳以上の高齢者53名が約6キロの公道コースを教習車で運転
- ・運転終了後、自分の運転ぶりの自己評価

・同乗者 助手席に自動車教習所指導員1名が着座し、運転ぶりをチェック・評価

・結果 高齢運転者は教習所指導員よりも高い評価(過大

自己評価)をする傾向

【第1日目の後半】ワークブック

・教育有群 自己評価と指導員評価との相違の自覚を学習

・教育無群 自己評価と指導員評価との相違の自覚学習無し

【2か月後 第2日目の前半】

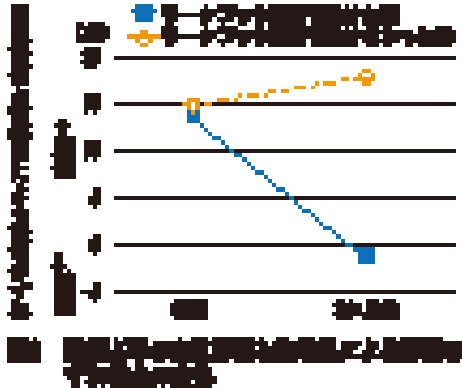
第1日目と同じメニュー

【第2日目の後半】

ワークブック教育の有無の群間比較

【総合結果】

- ・ワークブック教育有群 自覚学習の効果有り
- ・自己評価の相違の学習効果があり、指導員評価に近づく
- ・指導員評価が高まり、自己の過大評価が減少



例2. 「自他の運転評価が本人の運転自覚を高める」教育・介入法

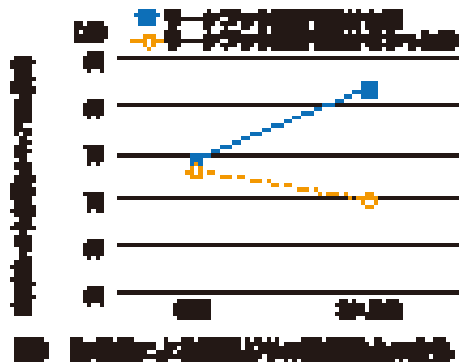
課題は「自分と他人に対する運転評価が本人の運転自覚を高められるか」

・研究参加者 65歳以上の高齢運転者夫妻46組(92人)

配偶者が運転者と評定者夫妻交代で分担した

- ・運転者 夫 Or 妻 運転者が夫 Or 妻 評定者が妻
- ・同乗(評定)者交代 評定者が夫 Or 妻 転者が妻
- ・助手席 指導員(評定者)

・結果 例1の研究結果とは異なり、夫婦とも自己評価は指導員の評価を下回る



過小評価傾向が認められ、さらに1年後には指導員の評価との差が拡大する傾向が認められる

おわりに

事故防止における「心理的側面」

事故防止といえば直ぐに危険運転者のルール順守が叫ばれ、罰則強化が検討されますが、忘れてはならないのが一般ドライバーの自主的な安全態度や危険予知等の心理的側面の啓発活動です。

安全、健康、平和などは人類社会の普遍的な願いである反面、事故、病氣、戦争などに対しては、恐怖、苦痛、悲哀を感じない限り本気で立ち向かおうとしないのが人間の習性かもしれません。

だとすれば痛い目に遭うまで動こうとしないのではなく、自発的に安全を追求しようではありませんか。安全管理に終点はなく、日々一刻一刻が安全活動です。家族と地域や職場の仲間同士が支え合う心の対策が最大の武器かもしれません。

## 危険予知訓練を実施しよう (解答)

片側1車線の道路で対向車が迫ってきました。前方には大きな水たまり。



**まごに気をつけよう**  
降雨時に、対向車とすれ違う際には、跳ね上げられる大量の水により、その影響は、視界を遮ったり、大きな衝撃を与えられることがあります。降雨時の悪影響から危険を減少させるためには、いつもより速度を落とした運転に心掛けましょう。  
降雨時は、ライトを点灯し自車の存在をアピールしましょう。

Q1 どのような危険がありますか？

解答・路面が濡れているので、スリップの危険性が増す。  
・対向車の水しぶきにより、視界が塞がれる。

Q2 どのようなことに注意して運転をしますか？

解答・ハンドルをしっかりと保持しながら、減速する。  
・ハザードを点灯し、左側に寄り停止する。

5ページに掲載した危険予知訓練の解答は次のとおりです。

## 自動車運転者に係る岡山労働局の取組について

岡山労働局長 森實久美子

働き方改革については、平成31年から取り組んできたところですが、本年4月1日から、改正労働基準法に基づく自動車運転者の時間外労働の上限規制及び改正された「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」(改善基準告示)の適用が開始されました。具体的には、これまで労働基準法では規制されていなかった自動車運転者の時間外労働時間の上限を年間960時間以内とし、改善基準告示では拘束時間の短縮、休息時間の拡大などが行われました。

運送業の長時間労働・低賃金の要因の中には、取引慣行等の個々の事業主の努力だけでは見直すことが困難なものもあります。岡山労働局では昨年6月に、荷主の都合による長時間の荷待ちの改善を図るため、岡山運輸支局と合同で荷主企業団体への要請を行いました。また、労働基準監督署では、荷主に対し、長時間の恒常的な荷待ちの改善や運送業務の発注担当者に対する改正改善基準告示の周知等について要請を行っております。

そのほか、改正労働基準法・改善基準告示の円滑な施行のため、昨年に引き続き、事業者に対する説明会の開催を予定しております。

加えて、事業者に対する支援策として、

- 生産性を向上させ、労働時間の削減等に向けた環境整備の取組を支援する「働き方改革推進支援助成金業種別課題対応コース(運送業)」
- 中小企業の賃金上げを支援するための「業務改善助成金」を準備していますので、ぜひご活用ください。



誰もが安心して働ける職場環境となるよう改正法・告示の周知、荷主への働きかけに努めてまいりますので、皆様方におかれましても一層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。